

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

南九州あんしんの家

グループの名称

南九州あんしんの家づくりグループ

直近採択グループ番号

04-0062-0672

(グループ代表者)

代表者名

岩永 昭

代表者印

代表者所属先

九州ハウジング株式会社

代表者所在地

福岡県みやま市山川町真弓22番地の2

代表者電話番号

0944-67-0121

(グループ事務局)

事務局事業者名

九州ハウジング株式会社

事務局担当者名

中村 弥沙登

印

事務局郵便番号

835-0111

事務局所在地

福岡県みやま市山川町真弓22番地の2

事務局電話番号

092-631-3772

事務局FAX

092-643-0994

事務局担当者E-mail

m-nakamura@kyu-hou.co.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		24	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	24	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	3	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		95	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	95	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		22	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	22	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		22	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	22	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		11	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	11	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	5	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	グループ内でも一事業者あたりの上限戸数を期間毎に定め、先着順に配分を行う。期間毎に上限戸数を定めることで、均等な割り当てと、予算をすべて活用できる体制を目指す。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	27戸	交付申請戸数	27戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	27戸
	補正予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南九州あんしんの家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、大分県等
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 南九州あんしんの家づくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0062-0672	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台風対策</li> <li>■床下の湿気対策並びに防蟻対策</li> </ul>	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>■標準仕様として、ベタ基礎とする。</li> <li>■主要な開口部に雨戸若しくは、防犯合わせガラスを設置する。</li> </ul>	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>■雨漏り対策に有効な切妻屋根を推奨する。</li> <li>■方位により、ガラスの仕様(遮蔽型、取得型)を考慮して選択し、やブラインド等も活用する。</li> <li>■省エネルギーにつながる設備等を1つは設置する。</li> </ul>	○
④①～③の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>■南九州地方は、台風の被害がでることがある。加えて年間の降水量も非常に多く、雨漏りのリスクが高い地域である。</li> <li>■年間を通して高温多湿の気候であり、シロアリの被害も多く発生する地域である。</li> <li>■ゼロエネルギー住宅(ZEH)の普及に伴い、地域の気候に伴う住宅の仕様を検討を行う事業者がみられる。</li> </ul>	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■光熱費の低減・一次エネルギー消費量削減等の省エネ観点から、太陽光やHEMSの導入を推奨する。</li> </ul>	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行っていない □ 行っている → 内容:</li> </ul>	
①-2 使用建材の統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行っていない □ 行っている → 内容:</li> </ul>	
①-3 標準仕様の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■標準仕様として、ベタ基礎とする。</li> <li>□ 行っていない ■ 行っている → 内容:</li> </ul>	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■プレカット事業者を集約する事で、木材の仕入れ・供給を一括管理する。</li> <li>□ 行っていない ■ 行っている → 内容:</li> </ul>	◎
②-2 調達事務の合理化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行っていない □ 行っている → 内容:</li> </ul>	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行っていない □ 行っている → 内容:</li> </ul>	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ない ■ ある → 内容: ■施工構成員に対し、地域材の供給量を管理する事で、事業の円滑な運営と明確な出荷証明書等の発行を行う。</li> </ul>	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ない ■ ある → 内容: ■瓦を使用する場合は、全数釘打ちとする。</li> </ul>	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ない ■ ある → 内容: ■第三者検査機関が行う、防水下地検査を推奨する。</li> </ul>	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ない □ ある → 内容:</li> </ul>	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ない ■ ある → 内容: ・住宅の施工期間中または竣工時に、消費者を対象とした現場見学会を開催する。</li> </ul>	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域型住宅」や「南九州あんしんの家」の記載を入れた“のぼり”を建築現場に設置する事で、構成員のブランド意識向上やエンドユーザーに対する信頼向上に努める。</li> <li>・平成28年度からゼロエネルギー住宅ではBELS認証必須とした。消費者への信頼性向上に向けた取り組みも積極的におこなっていく。</li> </ul>	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南九州あんしんの家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、大分県等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南九州あんしんの家づくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0062-0672	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■第三者機関による住宅履歴情報サービスへの登録を必須とし、蓄積保管を義務付ける。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■九州住宅保証株式会社「あんしんの家」等の第三者機関を推奨する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■実績報告時に住宅履歴預り証の写しの提出を必須とする。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■長期優良住宅では、定期点検の時期を「1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年」と定めて実施する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ■実績報告時に定期点検を指定期間に実施することの確認書の提出を必須とする。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■住宅引渡し時に事業者からエンドユーザーへ、「日常住まいの管理とお手入れ」が重要である事の説明を義務とする。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■実績報告時に「日常住まいの管理とお手入れ」の説明確認書の提出を必須とする。	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■グループ事務局が、必要に応じて近隣の施工構成員の中から、選定・手配を行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ■第三者機関による“住宅完成補償”への加入を促す。 ■グループ事務局として、株式会社住宅あんしん保証の“住宅完成保証制度”を推奨している。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■グループ事務局内に相談窓口を設置し、経験・未経験を問わず技術サポートを行う。 ■要望に応じて、グループルール説明会を実施する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■遠隔地の構成員が多いので、メールや電話での相談を随時受け付ける。 ■グループルールのマニュアルを作成し、配布する。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 35 今年度の参加目標人数 10	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 60 今年度の参加目標人数 10	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■施工、設計構成員へ情報発信し、職人(大工等)へ呼び掛けてもらう事で、より多くの人に講習への参加を促す。H25以降の講習会修了者が要件であることを周知する。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ■第三者機関による“住宅完成補償”への加入を促す。 ■グループ事務局が外皮性能、一次エネルギー計算のサポートを行うことで受注増加に繋げる。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南九州あんしんの家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、大分県等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南九州あんしんの家づくりグループ	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0062-0672	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
<p>・合法木材の九州地域材・ベイマツ材を主要構造材(土台・柱・梁・桁)と羽柄材(筋交・間柱・垂木)に使用する。 ・九州地域材及びベイマツ材の使用量は、主要構造材(土台・柱・梁・桁)に対して、50%を超えるものとする。 ・羽柄材(筋交・間柱・垂木)の原則100%に九州地域材及びベイマツ材を使用する。※耐力壁を筋交とする場合。</p> <p>□ 50%未満    ■ 50%以上    □ 80%以上</p> <p>土台: □ 使用していない    ■ 使用している 柱: □ 使用していない    ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: □ 使用していない    ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している</p> <p>◎南九州地方は、スギ素材生産において全国の生産量の34%(農林水産省「平成22年木材統計」より)を占めている。九州における木材自給率の更なる向上が見込める地域である為、県産材に拘らずに広く九州全域の木材利用が期待できる。但し、大スパン大断面においては、国産スギ材では強度に不安が在る為に、ベイマツ材を採用した。</p> <p>◎合法木材証明書および納品証明書 工務店様にて保管頂きます。</p>		
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p>◎</p> <p>○</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p>○</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南九州あんしんの家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、大分県等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南九州あんしんの家づくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0062-0672	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

・高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)の目標値と仕様

① R → 100.1%以上とする。

R0 → 20.1%以上とする。

UA → 0.6以下とする。

②エコキュートのJIS効率3.0以上とする

③節湯機器を設置する

④高効率エアコンを使用する【LDKのみに設置】

⑤全ての照明器具に蛍光灯またはLEDを採用する

・高度省エネ型(認定低炭素住宅)及び優良建築物型においては、「ゼロ・エネルギー住宅」の仕様を目指す。